

631.7

MONO3197110427

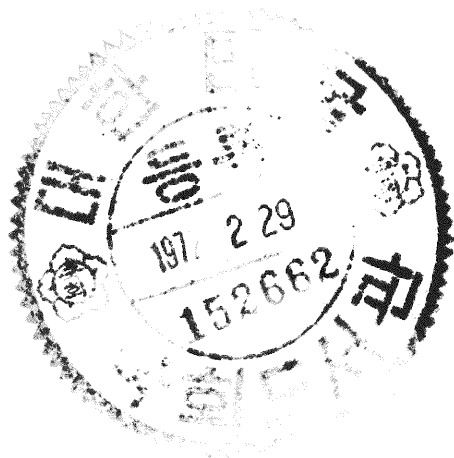
土地改良基本調査提要

CHOSEN SOTOKUFU

朝鮮總督府

TOCHI KAIZYO KEHON

CHOSA TEIYO



土地改良基本調查提要

目次

- 一、土地改良基本調查處務規程……………一
- 二、土地改良基本調查要項……………二七
- 三、土地改良基本調查施行心得……………五五

土地改良基本調査處務規程

(大正十二年三月一日改定)

第一條 土地改良基本調査ニ從事セシムル爲土地改良課ニ事業班ヲ置ク

事業班ハ技師一名屬一名、技手、雇員、各若干名ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 技師ヲ以テ事業班ノ長トス

第三條 班長ハ事業班ニ屬スル職員ヲ指揮監督シ受命ノ調査ニ從事スヘシ

班長ハ其ノ事業班ニ屬スル備品、消耗品ノ保管又ハ出納ニ付責任ヲ負フモノトス

班員ハ班長ノ指揮ヲ受ケ事業班ニ屬スル業務ニ從事スヘシ

第四條 事業班ニ於テハ技手一名及雇員五名ヲ以テ小班ヲ組織シ技手ヲ以テ其ノ主任ニ充ツヘシ但シ臨機必要アルトキハ班長ハ之ニ異ナル編成ヲ爲スコトヲ得

第五條 事業班ニ關スル命令ハ局長ノ決裁ヲ經テ之ヲ當該吏員ニ示達ス

第六條 班長事故アルトキハ當該事業班ニ於ケル上席ノ屬又ハ技手其ノ職務ヲ代理スヘシ

第七條 事業班ニ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一、班員勤務簿 (第一號樣式)

二、人夫使役總括表 (第二號樣式)

三、消耗品受拂簿 (第三號樣式)

四、備品保管簿 (第四號樣式)

五、物品購買書留簿 (第五號樣式)

六、作業日誌 (第六號樣式)

七、報告及往復書類綴

第八條 班長ハ左ノ事項ヲ局長ニ報告スヘシ

一、事務所ノ位置 (即 報)

二、班員勤務狀況報告 (第七號樣式) 翌月五日限報

三、作業報告 (第八號樣式一及二、月 翌月五日限報)

第九條 調査ヲ完了シタルトキハ完了後三月内ニ別ニ定ムル調査要項ニ依リ調査書ヲ局長ニ提出スヘシ

第十條 班員ヨリ提出スル願届書類ハ班長ヲ經由シ班長ニ於テ意見アルトキハ副申スヘシ

第十一條 班員ハ作業ニ差支ナキ限り班長ニ協議ノ上毎月二日以内繰合セ休業スルコトヲ得

第十二條 班員病氣ノ爲休業スルトキハ班長ニ届出ツヘシ但シ七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ局

長ニ届出ツヘシ

第十三條 班員公務ノ爲出府又ハ命令區域外ニ出張スルヲ要スルトキハ班長ニ於テ其ノ用務等ヲ具シ局長ニ

上申スヘシ

第十四條 事業班ニ於テ隨意契約ニ依リ物品ヲ購買、借入、運搬セムトスルトキハ二人以上ヨリ見積書ヲ徵シ最低見積者ト之ヲ契約スヘシ但シ豫定價格十圓未満ナルトキ又ハ他ニ見積者ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 調査期間中人夫ヲ常備トスル必要アルトキハ豫メ局長ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 班員人夫ヲ使役シタルトキハ第九號様式ノ人夫點檢表ニ使役歩合、賃金ヲ記入シテ毎日班長ニ差

出スヘシ但シ遠隔ノ地ニシテ即日送付シ難キ事情アルトキハ數日分ヲ取纏メ送付スルコトヲ得

第十七條 班長ハ決定豫算範圍内ノ費目金額ノ交互流用又ハ増額ヲ要スト認ムルトキハ其ノ事由ヲ具シ局長ニ具申スヘシ

第十八條 臨時資金前渡官吏ハ前渡金ニ付左ノ各號ニ依リ取扱フヘシ

一、前渡金ノ請求書ハ第十號様式ニ依リ局長ヲ經テ支出官ニ差出スヘシ

二、前渡ヲ受ケタル現金ハ私金ト混同スルコトナク調査期間短期ノ場合ヲ除クノ外成ルヘク郵便官署、金融組合又ハ確實ナル銀行ニ預入スヘシ

三、前渡金ノ毎月ノ仕拂ハ翌月五日迄ニ第十一號様式ニ依リ報告スヘシ

四、前渡金ノ支拂ヲ完了シタルトキハ十日内ニ第十二號様式ニ依リ前渡金ノ精算ヲ爲スヘシ但シ前渡金ノ殘餘アルトキハ第十三號様式ニ依リ直ニ返納ノ手續ヲ爲スヘシ

五、前渡ヲ受ケタル現金ニ付利息ヲ生シタルトキハ收入官吏ノ資格ヲ以テ金庫ニ拂込ノ手續ヲ爲スト共ニ

第十四號様式ニ依リ收入報告ヲ歲入徴收官ニ提出スヘシ

收入金ヲ取扱ヒタルトキハ翌年度四月十日迄ニ第十五號様式ニ依リ收入計算書ヲ提出スヘシ

六、現金ノ出納ハ其ノ都度第十六號様式ノ現金出納簿及第十七號様式ノ經費内譯簿ニ登記整理スヘシ

七、前渡金ノ支拂ハ人夫賃ニ在リテハ人夫使役總括表ニ依リ支拂證書ヲ作り其ノ他ニ在リテハ請求書ニ依

リ左ノ事項ヲ調査シ之ヲ仕拂ヒ受領證ヲ徴スヘシ

(イ) 前渡金ヨリ仕拂フヘキ經費ナルヤ否

(ロ) 支拂科目、所屬年度區分及金額

(ハ) 契約書其ノ他ノ書類

(ニ) 代理人ニ仕拂フ場合

八、證憑書ニ押捺スヘキ印章ハ實印ヲ以テセシメ止ムヲ得サル場合ニ限り認印又ハ拇印ヲ以テセシムヘシ

但シ拇印ノ場合ニ於テハ相當ト認ムル者ヲシテ本人ニ相違ナキ旨ヲ認證セシムルヲ要ス

九、支拂額ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ郵便官署ヨリ郵便切手類ヲ購入シタル場合ノ外之ヲ切捨ツヘシ

十、過拂誤渡ヲ發見シタルトキハ速ニ回收ノ手續ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ詳記シタル調査

ヲ作り證憑書トシテ前渡資金出納計算書ニ添付スヘシ

十一、會計檢査院ニ提出スヘキ前渡資金出納計算書ハ毎月分ヲ第十八號様式ニ依リ證憑書類ヲ添ヘ翌月七日迄ニ局長ヲ經テ支出官ニ差出スヘシ

第十九條 臨時資金前渡官吏轉任其ノ他ノ事故ニ依リ中途ニ於テ前渡官吏ヲ免セラレタルトキハ前條ノ例ニ依リ殘金ヲ返納スヘシ

第二十條 第十條以下ノ規定ハ出張中ニ於テノミ適用スルモノトス

여 백

土地改良基本調查處務規程樣式

目次

第一號樣式	班員勤務簿
第二號樣式	人夫使役總括表
第三號樣式	消耗品受拂簿
第四號樣式	備品保管簿
第五號樣式	物品購買書留簿
第六號樣式	作業日誌
第七號樣式	班員勤務狀況報告
第八號樣式	作業報告
第九號樣式	人夫點檢表
第十號樣式	資金前渡請求計算書
第十一號樣式	前渡金支出報告
第十二號樣式	前渡金精算書

第十三號樣式
第十四號樣式
第十五號樣式
第十六號樣式
第十七號樣式
第十八號樣式

前渡金殘額返納書
收入報告書
收入計算書
現金出納簿
經費內譯簿
前渡資金出納計算書

(第一號樣式) 班員勤務簿

						大正	年
月	月	月	月	月	月	日	一
						日	二
						日	三
						日	四
						日	五
						日	六
						日	七
						日	八
						日	九
						日	十
						日	十一
						日	十二
						日	十三
						日	十四
						日	十五
						日	十六
						日	十七
						日	十八
						日	十九
						日	二十
						日	廿一
						日	廿二
						日	廿三
						日	廿四
						日	廿五
						日	廿六
						日	廿七
						日	廿八
						日	廿九
						日	三十
						日	卅一

(第三號樣式) 消耗品受拂簿

品名		年月日	受	拂	殘	摘	要
同	何年何月何日	一〇〇		九〇	一〇〇	何某ヨリ購入	
						何某渡	

(第四號樣式) 備品保管簿

品目	數量	使用狀況	又ハ專用者

(第五號樣式) 物品購買書留簿

品目	數量	單價	價格	契約日期	受入日期	代金支拂日期	供給者	用途	主任
杭木長二尺 五寸二寸角	1,000	100	100,000	五月十日	五月二十五日	五月三十一日	何某	何々測	印

備考 一、契約月日ノ順序ニ依リ記載スヘシ

(第六號樣式)

作業日誌

		作業月別	從天	事	員候	作	業	狀	況
		日							

(第七號樣式)

班員勤務狀況報告

大正 年 月 日 提出

何々班長

何

某印

殖產局長宛

大正 年 月 分

		外業	病氣	私事	其他	計	官職	氏	名	備	考
		內業									

(第八號樣式)

作業報告

其ノ一

大正年 月 日 提出

何々班長 何 某印

項目	踏查日數	豫察又ハ報告書 取纏日數	記
小班名			本欄ニハ其ノ地方特殊ノ事情ノ爲踏查ニ比較的多クノ日數ヲ要シタル場合ハ參考トナルヘキ事項ヲ記載スヘシ
何技手班			
何技手班			

其ノ二

大正年 月 日 提出

何々班長 何 某印

調査水系名	所屬道	府	踏查濟道 府郡面名	調査終了道 府郡名	累計歩合
何水系	何道 <small>何部何面何面及何面ノ一部</small>				

備考 一、累計歩合欄ニハ毎月全水系調査完了ニ對スル累計見込歩合ヲ記載スヘシ

二、其ノ他參考トナルヘキ事項ハ備考欄ニ記入スヘシ

殖産局 長宛

大正 年 月 分

臨時資金前渡官吏官 氏

名 印

科 目	豫 算 高	前 出 月 迄	本 出 月 分	豫 算 殘	備 考
	支 出	支 出	支 出	支 出	前渡金現在高金…

(第十二號樣式) 前渡金精算書

科 目	前 領 濟 額 金	同 拂 濟 額 上	過 不 足	摘 要
	受 領	仕 拂	過 不 足	摘 要

右 精 算 候 也

年 月 日

殖 産 局 長 宛

臨時資金前渡官吏官 氏

名 印

(第十三號樣式) 前渡金殘額返納書

一金何圓何錢也 但シ何々前渡金殘額

科 目(款) (項)

前渡金受領濟額 何圓何錢也

同 仕拂濟額 何圓何錢也

右殘額不用ニ付返納告知書御發行相成度候也

年 月 日

臨時資金前渡官吏官 氏 名 印

支 出 官 宛

(第十四號様式)

收 入 報 告 書

大正 年度歲入經常部朝鮮歲入雜收入雜入

一金

前渡資金ヲ何年何月何日ヨリ何年何月何日迄(何地何々郵便局 何地何々銀行)貯金トシテ預入シタル利息金

年 月 日

臨時資金前渡官吏官 氏 名 印

朝鮮總督府歲入徵收官宛

(第十六號様式) 現金出納簿

年月日	摘要	受	拂	残
大正六年 3.10	支出官ヨリ受	2,000,000		
3.15	何代某渡		50,000	1,950,000
	五月分計	2,000,000	50,000	
6.15	何代某渡		100,000	1,850,000
6.16	五月十五日何代某ニ仕拂ヒタルニ何々ノ誤リニ付回收		△ 4,000	1,854,000
	六月分計支拂高		100,000	
	回收高		△ 4,000	
	差引支拂高		96,000	
	累 計		146,000	

△印朱書ノコト

備考

1. 受拂ノ都度登記シ月計及累計ヲ付スヘシ
2. 過拂誤渡ニテ現金ヲ取戻シタルトキハ拂ノ欄ニ朱書シ摘要ニ其事由ヲ記載スヘシ
3. 前渡金ヲ支出官ニ返納シタルトキハ受ノ欄ニ朱書シ摘要ニ其事由ヲ記載スヘシ
4. 預金ノ預入及引出ハ現金出納簿ニ登記スヘカラス

(第十七號様式) 経費内訳簿目内訳

年月日	摘要	資金前途 受領額	支拂額	残額	備考
大正六年 5.5	第 號通知	1,500,000			
5.15	何代某渡		50,000	1,450,000	
	五月分計		50,000		
6.15	何代某渡		100,000	1,350,000	
6.16	五月十五日何代某ニ仕拂ヒタルハ何々ノ誤ニ付回收		△ 4,000	1,354,000	
	六月分計仕拂高		100,000		
	回 收 高		△ 4,000		
	差 引 支 出 高		96,000		
	累 計		146,000		

△印ハ朱書ノコト

備 考

1. 口座ヲ目内訳ニ區分シ月計ヲ付スヘシ (内訳ハ廳費 備人料其他)
2. 支拂ヲナシタルトキハ現金出納簿登記ト同時ニ本簿目内訳ノ二口座ノ支拂額欄ニ記入スヘシ
3. 過拂誤渡ニテ現金ヲ取戻シタルトキハ仕拂額欄ニ朱書シ其事由ヲ摘要ニ記載スヘシ

(注意 記帳濟ノ支拂額ヲ訂正スヘカラス)

本月領收額		前月迄領收額		本月返納額		差引計		摘要
円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
								經常部
								何々 (款)
								何々 (項)
0		0		0		0		何々 (目)
								何々 (目)
								計
								何々 (款)
0		0		0		0		何々 (項)
								何々 (目)
0		0		0		0		何々 (目)
								計
								經常計
0		0		0		0		臨時部
								(經常部-徴)
								總計

(第十八號様式)

大正 年度

大正 年自 月 日至 月 日

朝鮮總督府特別會計

前渡資金出納計算書

證憑書 冊

何 枚

朝鮮總督府殖産局土地改良課

臨時資金前渡官吏 官 氏 名印

大正 年 月 日 提出

(第十八號様式末尾)

回数 内 譯

本月 支拂額			前月迄 支拂額			本月 回収額			差引計			残 額			備 考
円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘	
0			0			0			0			0			
0			0			0			0			0			
0			0			0			0			0			
0			0			0			0			0			
0			0			0			0			0			
0			0			0			0			0			
0			0			0			0			0			

摘 要	金 額
備人料其他	
何月何日何某支拂ノ内何々 ニ依リ誤拂ヲナシタルニ付 何月何日回収セリ	○

大正 年 月 日

住所

氏 名 印

臨時資金前渡官吏官 氏 名殿

右金額正ニ領收候也

大正 年 月 日

住所

氏 名 印

臨時資金前渡官吏官 氏 名殿

備考

一、購入後直ニ消費シタル物品ニ付テハ「購入後直ニ消費ニ付物品出納簿ニ登記セス」ト附記シ前渡官吏認印ヲ押捺スルコト

二、船舶家屋借上賃ニ對シテハ納入月日ヲ使用期間トシ「使用済」ト附記シ前渡官吏認印ヲ押捺スルコト

三、金額五圓以上ノモノニ付テハ參錢收入印紙ヲ貼用セシムヘシ

但シ營業ニアラサルモノニ付テハ此限ニ在ラス

(第十八號様式附屬三)

人夫賃支拂證書

一金

但シ何々ノ爲自大正 年 月 日至大正 年 月 日ノ間ニ使役シタル人夫賃別紙内譯書ノ通

右支拂證明候也

年 月 日

臨時資金前渡官吏 官 氏 名 印

(第十八號様式附屬四)

人夫賃支拂内譯書

出 面 日 數	延 人 員	一 人 ノ 賃 金	小	計	住 所	氏 名	領 收 印

여 백

土地改良基本調査要項

(大正十二年三月一日)
訂

第一 本調査ハ朝鮮全土ニ亘リ山麓傾斜地、河邊荒蕪地、干瀉地等ノ未墾地ニシテ將來耕地ニ利用シ得ヘキモノ及既墾地ニシテ土地改良ノ必要アルモノニ付其ノ所在、面積及利用改善ノ方法ヲ調査シ企業ノ促進竝ニ各事業計畫ノ統一ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二 本調査ハ水系別ニ施行シ調査ニ關スル作業ハ豫察及踏查ニ之ヲ分ツ

第三 豫察トハ地圖、其他ノ材料ニ依リ踏查ノ方針ヲ定ムルヲ謂フ

第四 踏查トハ前項ノ方針ニ基キ實地ニ付調査測定スルヲ謂フ

第五 豫察ニ依リ調査スヘキ事項左ノ如シ

一、水系ノ區分

二、主ナル河川ノ本支流別流域面積

三、流域ノ狀況(地勢、地質、耕地、未墾地、林野分布ノ狀況並面積)

四、土地改良ノ必要アル區域及其ノ利用ノ種類

五、灌溉排水組織及幹線水路ノ位置

六、其他參考事項

第六 踏査ハ之ヲ分チテ水系全體ノ調査ト土地改良地區ノ調査トシ其ノ調査スヘキ事項左ノ如シ但シ土地改良地區ノ調査ハ二百町歩以上ノモノノミニ付之ヲ行フ

甲、水系全體ニ關スル事項

一、水系ノ狀況

水系ノ狀況ニ付テハ其ノ水系内ニ於ケル主ナル河川ノ流域面積、流域ノ地勢、地質、耕地未墾地林野ノ分布竝其ノ狀況ヲ調査ス

二、土地利用ノ狀況

土地利用ノ狀況ニ付テハ耕地、未墾地及山林ノ面積竝主要作物ノ作付反別平均反當收量ヲ調査ス

三、氣象

氣象ニテ付ハ各月平均氣温、累年月別雨量、灌溉期間(六月乃至九月)ニ於ケル累年旬別雨量、最大日雨量、逆續最大降水量、逆續最大旱魃日數、累年月別蒸發量、灌溉期間(六月乃至九月)ニ於ケル累年旬別蒸發量、晚霜初霜、結氷解氷ノ時期、主ナル風位、最大滿潮位、平均朔望滿潮位、平均滿潮位、小潮時ノ滿潮位、小潮時ノ干潮位、平均干潮位、平均朔干潮位、最大干潮位等ヲ調査ス

四、旱水害ノ狀況

旱水害狀況ニ付テハ旱害地ノ所在面積竝ニ用水不足ノ程度、水害地ノ所在面積及其水害ノ程度ヲ調査ス

五、農業 狀態

農業狀態ニ付テハ人口ノ疎密、農家戸數、地主小作ノ割合、土地ノ價格、貧富ノ程度等ヲ調査ス

六、土地改良地區ノ概況

土地改良地區ニ付テハ其ノ所在、面積竝ニ其ノ現況ヲ調査シ其ノ水系全體ヲ通シ適當ナル水利ノ基本計畫ヲ定ム

乙、土地改良地區ニ關スル事項

一、現 況

イ、位置、地勢及土質

位置、地勢及土質ニ付テハ面里洞名傾斜ノ度、方向、海拔ノ高サ(標高ヲ以テ示ス)、表土心土ノ土性其ノ深サ等ニ付調査ス

ロ、關係河川ノ地區附近ノ狀況

關係河川ニ付テハ河川ノ勾配、河床ノ狀態、河幅、汎濫狀況、土砂流出ノ程度、洪水、濁水、平水ノ水位、水量竝ニ感潮地點及潮位ヲ調査ス

ハ、地區ノ面積地

地區ノ面積ニ付テハ其地目別面積ヲ調査シ又ハ山林及未墾地ニ付テハ國有民有ノ區分、緣故者利用權

者ノ有無及其ノ住所氏名ヲ調査シ尙其ノ土地改良ノ施行カ漁業、鹽業、商業、採草等ニ付附近ノ土地及住民ニ及ホスヘキ影響ヲ調査ス

ニ、旱水害ノ狀況

旱水害ノ狀況ニ付テハ在來ノ灌溉、排水、防水、防潮ノ組織慣行及設備竝ニ方法、用水過不足、排水ノ良否、水害ノ範圍、浸水ノ程度、時期、期間及農作物ニ對スル被害ノ程度等ニ付調査ス

ホ、農業狀態

農業狀態ニ付テハ一毛作、二毛作(畚ニ付テ)作付面積、主要作物作付面積、平均反當收穫量、地價、賣買價格、公課竝小作料率及小作慣行ヲ調査シ尙灌溉排水等ニ付特ニ勞力ヲ要スルモノニアリテハ其勞力、特種ノ耕作方法ヲ行フ地方ニアリテハ其耕作方法ヲ調査ス

ヘ、農業勞力過不足ノ狀況

農業勞力過不足ノ狀況ニ付テハ現在一戸當リ耕作反別土地改良施行後ニ於ケル勞力過不足ノ狀況ヲ調査ス

二、計畫

イ、一般計畫

一般計畫ニ於テハ事業計畫ノ概要ヲ記入ス

ロ、灌漑計畫

灌漑計畫ニ付テハ用水量、水源、灌漑方法、灌漑水路幹線等ヲ計畫ス

ハ、排水計畫

排水計畫ニ付テハ排水量、排水方法、排水幹線、排出口等ヲ計畫ス

ニ、防水防潮計畫

防水防潮計畫ニ付テハ防水、防潮堤等ヲ計畫ス

ホ、開墾干拓、地目變換ノ計畫

開墾、干拓、地目變換ニ付テハ各耕地ノ區劃面積形狀等ヲ豫定シ其ノ主要ナル道路水路ノ配置ノ方法等ヲ計畫ス

ヘ、事業年度割

ト、主要工作物

主要工作物ニ付テハ其ノ大サ構造ヲ計畫決定ス

チ、事業費

事業費ニ付テハ計畫ニ基キ其ノ工事費、事務費、豫備費等ヲ概算ス

リ、事業ノ効果

事業ノ効果ニ付テハ事業ニ依リ得ラルヘキ生産ノ増加ヲ豫想シ其ノ事業費ニ對スル利廻ヲ算定ス

ス、土地改良ノ施行カ隣接地ニ及ホス影響

土地改良ノ施行カ地區外ノ灌溉排水ニ影響アリト認ムル場合ハ其ノ範圍ヲ調査シ尙水利權其他ノ權利
慣行ノ有無ヲ調査ス

樣式

(表紙記載例)

何水系(何道何郡)

土地改良基本調查報告

大正何年何月調

(內容記載例)

第何班々長官氏名

何水系土地改良基本調查書

一、水系ノ狀況

1、主要ナル關係河川名

2、總面積

3、地質、地勢

4、耕地、未墾地、林野分布並其ノ狀況

二、土地利用ノ狀況

畝	地目	總面積	主要作物	作付反別	平均反當量	總生產額	記	事
	町	夏	作	石	石			

一、各月平均氣温表

氣温	月
度	一月
度	二月
度	三月
度	四月
度	五月
度	六月
度	七月
度	八月
度	九月
度	十月
度	十一月
度	十二月
	年平均

2、累年月別 蒸發水量表

何年	何年	何年	年
			月
			一月
			二月
			三月
			四月
			五月
			六月
			七月
			八月
			九月
			十月
			十一月
			十二月
			計

3、灌溉期間累年旬別降雨量蒸發水量表

右降水量
左蒸發水量

何年	何年	年
		旬
	蒸發水量	自六月一日起至六月十日
		自六月十一日起至六月廿日
		自六月廿一日日起至六月卅日
		自七月一日起至七月十日
		自七月十一日起至七月廿日
		自七月廿一日日起至七月卅日
		自八月一日起至八月十日
		自八月十一日起至八月廿日
		自八月廿一日日起至八月卅日
		自九月一日起至九月十日
		自九月十一日起至九月廿日
		自九月廿一日日起至九月卅日
		計

4、最大日雨量、連続最大降雨量、連続最大旱魃日數

自何年	至何年	第一位		第二位		第三位		記	事
		數	年月日	數	年月日	數	年月日		

5、降霜、其他

自何年	至何年	平均		極		記	事
		初	晚又ハ解	初	晚又ハ解		

本欄ニハ最寒時ニ於ケル土壤ノ凍結ノ程度ヲ記載スベシ

五、農業狀態

地名	農家總戶數ニ對スル地主ノ割合		耕作ノ割合	同上ニ對スル小作ノ割合	耕地賣買價格			記事
	農家總戶數ニ對スル地主ノ割合	同上ニ對スル小作ノ割合			上	中	下	
何々地方								
.....								
								本關ニハ地方ノ貧富ノ程度等參考トナルベキ事項ヲ記入スベシ

六、土地改良地區ノ概況

地區番號	所在地ノ		總面積	工種別面積	水源種類	關係河川又ハ水源ノ位置	記事
	町郡	里郡					
第一號	何道何郡	何面何里		水利改善 地目變換 拓墾	町町町		本欄ニハ其工事施行ノ難易ヲ甲乙丙ニ區分シテ記載スベシ
第二號							

備考 本表ハ之ヲ甲、乙二表ニ分チ甲表ニハ二百町歩以上ノモノヲ記載シ乙表ニハ開墾ノ面積十町歩

以上ノモノ、灌溉改善、地目變換ハ面積三十町歩以上ノモノニ限リ掲記スヘシ

第何號土地改良地區

一、現況

- イ、位置、地勢、土質(位置ニ就テハ地區ニ編入サレタル郡面洞里名地
區ト著名都邑及河川トノ關係位置ヲ記載ス可シ)
- ロ、關係河川ノ地區附近ノ狀況(水位水量ノ記入ハ其測定地點ヲ明記ス可シ
土地改良事業計畫ニ關係ナキ河川ハ省略シテ可ナリ)
- ハ、面積

地目	面積	積	記	事
田			本欄ニハ山林、未墾地ニ付テハ國有民有ノ區分、緣故者、利用權者ノ有無又ハ其氏名等參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ	
山林				
原野				
干瀉地				

其他	
計	

二、旱水害ノ狀況
 木、農業態狀

(一) 土地利用ノ狀況

其ノ一

地目	一		毛	作	二	毛		作	記事
	田	畝				面積	反當收量		
						冬作	夏作		本欄ニハ土地ノ肥瘦、施肥除 草灌其他手入ノ程度等參考 卜ナルベキ事項ヲ記載スベシ

其ノ二

(二) 用水源

1、貯水池(又ハ貯水壑)ニ依ル場合

其ノ一

貯水池名	貯水池ノ位置	集水面積	満水積面	貯一水回量ノ	灌溉能力	記事
……池						本欄ニハ最大平均水深集水區域ノ狀況並ニ集水計畫其他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
……池						
……池						

其ノ二

貯水池名	堤體ノ構造大サ			樋管大サ		餘水吐ノ大サ		記事			
	構造	最高心高	堤長	天巾	内法	外法	容積		徑長	深巾	水深
……池											本欄ニハ堤體及其他工作物構造並ニ堤塘築造材料採集地點ノ説明ヲ記入シベ
……池											
……池											

2、堰ニ依ル場合

其ノ一

………堰	堰ノ名稱	堰ノ位置	關係河川名	河川ノ流積	河川ノ流量	取入水量	灌漑能力	記 事
………堰	何道何郡 何面何里			町 水面積	秒尺 平水量 秒尺 最大濁水量 秒尺 水量			本欄ニハ關係河川ノ 流域河床其他ノ狀態 ヲ記載スベシ
………堰								
………堰								
………堰								
………堰								
………堰								

其ノ二

………堰	堰 名	堰 體	取 入 口	記 事
………堰	長 心 高	中 高		本欄ニハ堰體及引入口ノ構造ヲ説明ナス ベシ
………堰				
………堰				
………堰				
………堰				
………堰				

3、揚水機ニ依ル場合

其ノ一

揚水場ノ位置	用水汲揚河川 又ハ池沼名	同上流量又ハ湛水量		揚水量	灌溉能力	記 事
		平水量	湛水量			
.....						本欄ニハ揚水場ノ洪水時ニ於ケル狀況揚水源ノ水質ニ付含鹽ノ有無又ハ含鹽量等參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
.....						

其ノ二

揚水場ノ位置	ノ揚水種類機	ノ揚水大サ機	揚程	種類機	ノ原動大サ機	記 事
			尺		馬力	本欄ニハ原動機ノ燃料供給ノ便否又ハ原動力ニ電氣ヲ使用スルモノニアリテハ發電所ノ位置及送電距離等ヲ記載スベシ

4、自然流下水ニ依ル場合

集水區域	集水量	灌溉能力	記事
町	町立方尺		本欄ニハ水量増減及其時期等ヲ記載スベシ

説明

- 一、貯水池(又ハ貯水畚)ノ場合ニアリテハ其ノ貯水計畫、灌溉能力算出方法、堰堤位置地盤ノ狀況、樋管餘水吐断面等ノ算出方法、貯水地築造又ハ増築カ上下流ノ耕地並ニ一般公衆ニ及ホスヘキ影響其ノ他必要ト認ムル事項ヲ各項ニ別チ記載スヘシ
- 二、堰ノ場合ニアリテハ河川ノ狀況、堰高、取入口断面算出ノ方法、堰築造ノ爲メ上下流沿岸耕地並ニ一般公衆ニ及ホスヘキ影響、其ノ他必要ト認ムル事項ヲ各項別ニ記載スヘシ
- 三、揚水機ノ場合ニアリテハ揚水機据付位置ノ地盤、取入ムトスル河川、湖沼ノ狀況、揚水ノ爲メ河川又ハ池沼沿岸耕地又ハ一般公衆ニ及ホス影響、揚水機並ニ原動機ノ大サ算出方法、其ノ他必要ト認ムル事項ヲ各項別ニ記載スヘシ
- 四、自然流下水ヲ利用スル場合ニアリテハ集水量、利用水量並ニ灌溉能力算出ノ方法、其ノ他必要ト認ムル事項ヲ各項別ニ記載スベシ

(三) 用水路

		用水幹線
		延長
		勾配
		支配面積
		通水量
		種類
		位置
		延長
		大サ
		構造
		特殊工事ノ主ナルモノノ大サ構造ノ概要
		第二階級ノ用水路ノ總延長

ハ、排水計量

(一) 排水量

		排水區名
		内區地
		受水面積
		排水量
		算出方法
		記
		事

本欄ニハ受水區域ノ地勢地貌其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

(二) 排水路

		排水幹線
		延長
		同上断面
		勾配
		支配面積
		通水量
		特殊ノ構造大サノ概要
		第二階級ノ排水路ノ總延長

(三) 排水口

		排水口ノ位置
		大
		サ
		排水能力
		記
		事

秒立方尺
 本欄ニハ排水口ノ構造ヲ記載スベシ

説明

排水能力算出方法、排水口設置箇所ノ地盤ノ狀況本排水工事カ地區外ニ及ホス影響、其ノ他必要ト認ムル事項ヲ各項別ニ記載スヘシ

若シ揚水機ヲ使用スル場合ハ灌漑ノ場合ニ準シ附表及説明スルコト

費 目	金 額	記 事
一、工 事 費		本欄ニ於テ可成其ノ工費ヲ各工種別ニ記入スルコト
(一) 用 水 費		貯水池ハ盛土量及一立坪盛土費ヲ記載スベシ
1、貯 水 池 費		貯水池ニハ堤防、樋管、餘水吐等ノ一切ノ費用ヲ加算スルコト
2、堰 費		堰ニハ附屬取入水門、餘水吐其ノ他ノ費用ヲ加算スルコト
3、揚 水 機 費		揚水機ニハ上屋其ノ他之ニ關スル一切ノ費用ヲ加算スルコト
4、用 水 幹 線 費		水路費ニハ附帶セル架樋、伏越等工作物一切ノ費用ヲ加算スルコト
5、主 要 支 線 費		
(二) 排 水 費		以下同シ

(六) 地目變換費	(五) 開墾費	(四) 主要道路費	2、防潮堤費	1、防水堤費	(三) 防水防潮堤	4、主要支線水路費	3、幹線水路費	2、排水機費	1、閘門費
同上	平均反當工費ヲ記載スヘシ	其ノ幹線附帶ノ橋梁暗渠等一切ノ費用ヲ加算スルコト							

	(七) 雜工費		道路河川付替費等一切ノ雜工費ヲ加算掲記スルコト
	(八) 用地費		
	(九) 雜費		作物其ノ他ノ補償費類
	二、事務費		
	三、豫備費		
計			

手、收益豫想

其ノ一 既墾地ノ土地改良ノ場合

地	目	積	反當增收	總增收高	記	事
本欄ニハ土地改良前後ノ平均反當收量ヲ記入ス可シ						

土地改良基本調査施行心得

(大正十二年三月一日訂)

第一章 現況調査

第一、土地面積ハ陸地測量部地圖、朝鮮總督府土地調查局出版地圖及朝鮮總督府出版林野分布圖ヲ用ヒ面積計算器ニ依リ概測スヘシ但シ耕地面積ハ可成土地臺帳ニ據ルヘシ

第二、土地改良地區内ノ地目別面積ハ土地臺帳、林野臺帳ニヨリ調査シ之ニ依リ難キ場合ハ土地調查局出版地圖ニ依リ面積計算器ヲ用ヒ測定スヘシ但シ計畫スヘキ貯水池面積ハ平板器ヲ用ヒ其面積ヲ實測スヘシ

第三、土地改良地區界ノ決定ハ成ルヘク道路、水路、其ノ他明白ナル境界ニ依ルヘシ

第四、土質ハ土質異ル毎ニ適宜試鑽ヲナシ表土ノ性質深淺心土ノ性質ヲ調査シ尙本調査ニハ朝鮮農會出版朝鮮土性圖ヲ參照スヘシ

第五、氣象ハ可成氣象狀況ノ類似セル土地ノ觀測所ノ記錄ニ依リ十ヶ年以上ニ亘リ調査シ連續最長旱魃日數計算ニハ五耗以下ヲ除キ最大連續降水量、及旱魃日數ハ第三位迄ノモノヲ調査スヘシ

第六、關係河川ノ洪水位、平水位、渴水位及水量ハ必要ニ應シテ實測ヲ行フモノトシ土木部出版治水々利踏査書ヲ參酌スヘシ而シテ水位及水量ハ左記各號ニ依リ區別スヘシ

一、渴水位渴水量、灌溉期間ヲ通シ約五日間以上之ヨリ下ラサル水位及水量

二、平水位平水量、灌溉期間ヲ通シ約五十日間以上之ヨリ下ラサル水位及水量

三、平均渴水位渴水量、平均平水位平水量 前各號ノ水位及水量ヲ數年
間ニ亘リ平均シタルモノ

四、洪水位洪水量、數年間ニ於テ一回實現スベキ洪水ノ水位及水量ニシ
テ何年何月何日ノ洪水位洪水量ト呼フベシ

五、高水位高水量、毎年一回乃至二回實現スヘキ程度ノ出水位出水量

六、最大渴水位渴水量、最大洪水位洪水量 里人ノ口碑又ハ記憶ニ依リ知ラルベキ既往ニ於
ケル最も大ナル渴水又ハ洪水ノ水位及水量

第二章 計 畫

第七、灌溉計畫

一、用水量

用水量ハ其ノ地方ノ土質、降水量、蒸發量、地下水位及收穫量等ニ依リ算定スヘシ

二、灌溉設備

(一)貯水池築造ノ場合

(イ)貯水池ノ集水面積ハ陸地測量部又ハ土地調査局出版五萬分ノ一地圖ニ依リ面積計算器ヲ用ヒ測

定シ誤差アルノ疑アル場合ハ概測ヲ行ヒ其面積ヲ補修スヘシ

(ロ)築堤豫定位置ハ縱横斷測量ヲ行ヒ其ノ堤體ノ容積ヲ算定シ工費ヲ概算スヘシ

ハ) 築堤位置ハ計畫圖ニ記入スヘシ

ニ) 餘水吐樋管ノ位置ヲ決定シ構造ノ概要ヲ定メ其ノ工費ヲ概算スヘシ

ホ) 貯水池敷ハ縱横斷測量ヲ行ヒ二尺間隔ノ同高線ニヨリ其ノ容積ヲ算出スヘシ

(二) 河川引用ノ場合

イ) 河川ノ用水取入口上流ノ流域面積ハ陸地測量部又ハ土地調査局出版ノ五萬分ノ一地圖ニ依リ面積計算器ヲ用ヒ測定スヘシ

ロ) 取入堰設置豫定位置ハ縱横斷測量ヲ行ヒ其ノ堰ノ大サ、構造ノ概要ヲ定メ其ノ工費ヲ概算スヘシ

ハ) 取入口ノ制水樋門ノ位置構造ノ概要ヲ決定シ其ノ工費ヲ概算スヘシ

ニ) 用水取入口ヲ設置スヘキ地點ニ付テハ渴水位、平水位、洪水位最大渴水位、及最大洪水位ヲ測定シ平水位、洪水位ト附近耕地面トノ高低ヲ實測シ尙堰設置ノ爲メ昂上スヘキ水位ヲ算出シ附近ノ耕地ニ及ホス影響ヲ調査スヘシ

ホ) 取入堰設置ノ地區外ニ對スル影響ニ付テハ其ノ地點ノ下流ニ於ケル用水引用設備ノ有無及其ノ

數利用水量ヲ調査シ下流既墾畝ニ及ホス影響ヲ調査スヘシ

ヘ) 用水取入堰ノ位置ハ計畫圖ニ記入スヘシ

(三) 揚水機

- (イ) 揚水機設置ノ場合ハ其ノ揚水位置ヲ豫定シ計畫圖ニ記入スヘシ
 (ロ) 揚水場ノ揚程ハ實測ヲ行ヒ算定シタル揚水量ニ基キ揚水機、原動器ノ種類及大サヲ定メ其ノ工費ヲ概算スヘシ

三、用水幹線

- (イ) 幹線水路ハ縱横斷測量ヲ行ヒ其ノ工費ヲ概算スヘシ
 (ロ) 主要ナル用水支線ハ踏査ニ依リ位置及工費ヲ概算スヘシ
 (ハ) 用水幹線ニ設置スヘキ墜道、サイボン、水路橋等特種ノ工事ニ付テハ其ノ大サ構造ノ概要ヲ定メ其ノ工費ヲ概算スヘシ

第八、排水計畫

- 一、排水量ニ付テハ其ノ地方ニ於ケル最大日雨量ヲ調査シ其ノ排水量ヲ算定スヘシ
 二、排水口ニ付テハ其ノ位置ヲ豫定シテ計畫圖ニ記入シ排水開門ヲ設置スル要アル場合ハ其ノ適當ナル大サ構造ノ概要ヲ定メ工費ヲ概算スヘシ
 三、排水口外ニ於テハ其ノ河川水位又ハ潮位ヲ里人ノ記憶口碑ニヨリ調査シ其ノ標高ヲ實測スヘシ
 四、揚水機ヲ使用スル場合ニアリテハ其ノ揚程ヲ實測シ算定シタル排水量ニ依リ其ノ揚水機及原動機ノ

種類大サヲ定メ工費ヲ概算スヘシ

五、排水幹線ハ其ノ縦横斷測量ヲ行ヒ工費ヲ概算スヘシ

第九、防水防潮堤ニ付テハ其ノ位置ノ縦斷面築堤長サ及潮位ヲ實測シ其堤體ノ大サ構造ヲ定メ其工費ヲ概算スヘシ

第十、事業費概算ハ百圓止メトシ左ノ各項ニ依リ算出スヘシ

イ、各工事ノ步掛ハ別表ニ依リ決定スヘシ

ロ、材料費、人夫賃其ノ他ハ地方ニ依リ適當ナル額ヲ調査決定スヘシ

ハ、事務費ハ左記ノ標準ニ依リテ決定スヘシ

工費五萬圓以下 約二割

工費五萬圓以上 約一割五分

工費拾萬圓以上 約一割

ニ、豫備費ハ總費用ノ五分以内ヲ標準トスヘシ

第十一、收益豫想ハ地味成熟セル場合ニ於ケル總收益ヲ示スノ外地味成熟ニ到ル迄ノ見込年限ヲ定メ各年ノ見込ヲ示スヘシ

第三章 報告書

第十二、計畫完了シタル時ハ別紙様式ニ依リ報告書ヲ作製スヘシ
 第十三、報告書ニ記載ヲヘキ報文ニハ左記ノ單位ヲ使用スヘシ

流域面積	方里	耕地面積	町步
降水量	耗	蒸發量	耗
流量	秒立方尺	落差	尺
水位	尺	勾配	何分ノ一
法面勾配	割	流速	秒尺
水深	尺	水頭潮位	尺
時間	抄	標高	尺
濡潤週邊	尺	河川ノ斷面	平方尺
動水平均深	尺	河川道路水路堤塘ノ長	間
測量線	間	貯水池面積	町步
貯水量	町尺	用水量	町秒尺又ハ水深尺
氣温	度 (C)	風速	秒米突
構造物	尺	唧筒口徑	吋

原動機 馬力

第十四、報告書ニ添付スヘキ圖面ハ各水系毎ニ左記各項ニ依リ調製スヘシ

イ、一般計畫平面圖ハ土地調查局五萬分ノ一圖面ニ計畫線ヲ記入スヘシ

ロ、貯水池ノ計畫平面圖ハ三千分ノ一ノ縮尺ヲ以テ實測ニ基キ調製スヘシ

ハ、堤體樋管、樋門、其ノ他ノ構造圖ハ添付ヲ要セス

ニ、一般計畫ノ平面圖ハ左記ノ記載例ニ依リ調製スヘシ

一、地區界

紅色破線

一、新設貯水池

藍色斜線

一、沓ニ開墾及地目變換スヘキ土地

薄藍色

一、田 同上

薄黃色

一、沓ニ干拓スヘキ土地

薄紅色

一、田ニ干拓スヘキ土地

薄黃色

一、用水幹線

藍色平行線

一、排水幹線

紅色平行線

一、用水排水隧道

紅色又ハ藍色
平行破線

一、用排水兼用幹線

藍色紅色平行線

一、各種工作物ハ左ノ記號ヲ用ヒ紅色ヲ以テ記入スヘシ

堤塘



暗渠樋管



サイボン



樋門



橋渠



溢流堤



揚水器



水路橋



堰堤



制水樋門

